

## 第6節 産業振興施設

小分類：産業振興施設、農業振興施設、駐車場

### 1 産業振興施設

産業振興施設は、本市における経済活動を支えるために設置されています。

#### 【供給面】

施設総数：3      総延床面積：8,338㎡

#### 《施設配置数》

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
			1										1				1

#### 《配置図》



※配置図には後述の駐車場も掲載

《市条例で定められている産業振興施設の種類の種類》

施設名	根拠条例	設置目的
鳥取市公設地方 卸売市場	鳥取市公設地方卸売市場条例	生鮮食料品等の取引の適正化及び流通の円滑化を図り、もって市民生活の安定に資する。
青谷町特産品加工 販売施設 (ようこそ館)	鳥取市青谷町特産物加工販売施設の設置及び管理に関する条例	特産加工品の研究開発と加工品の製造販売及び地域間の交流により農業・農村の活性化を図る。

《主な建物の状況》

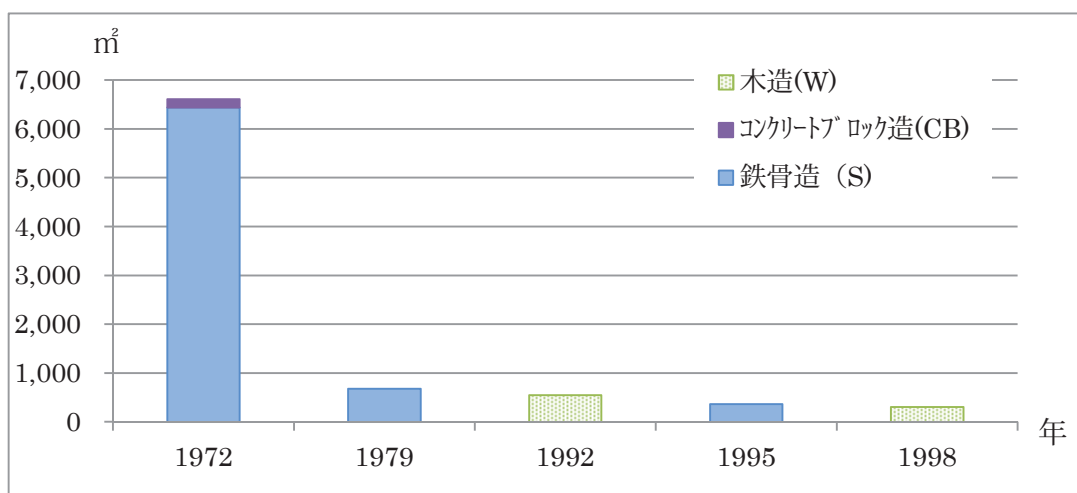
施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
鳥取市公設地方卸売市場				
青果棟	南安長二丁目	1972	4,826	鉄骨造
水産物棟	南安長二丁目	1972	1,760	鉄骨造
花き棟	南安長二丁目	1972	430	鉄骨造
管理棟ほか	南安長二丁目	1972	468	鉄骨造 コンクリートブロック造
青谷町特産品加工 販売施設 (ようこそ館)	青谷町青谷	1998	296	木造
観光物産センター	用瀬町別府	1992	548	木造

※ 観光物産センターは、流しびなの館（観光施設）と一体

【品質面】

《建築年及び構造別延床面積》

卸売市場の耐用年数が近づいています。



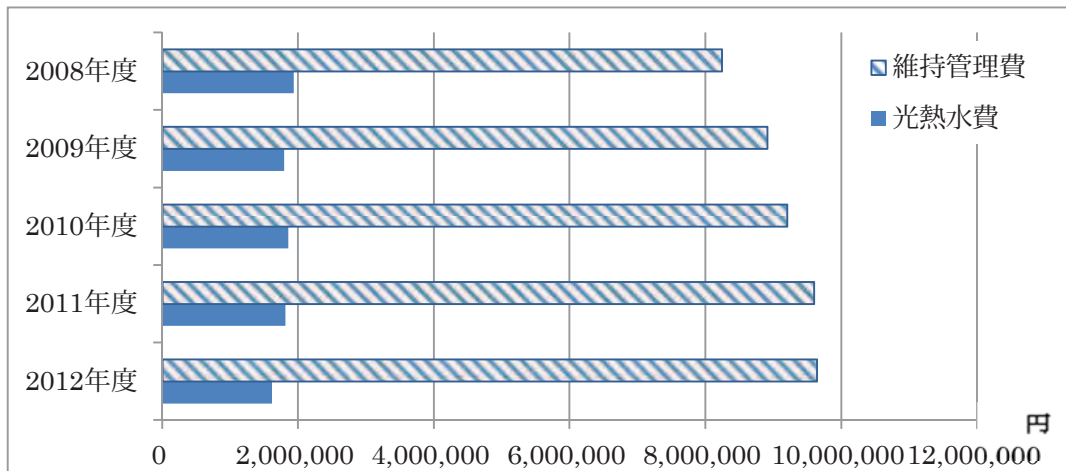
## ①鳥取市公設地方卸売市場

### 【財務面】

#### 《管理状況・施設管理コスト》

市場の管理・運営は、指定管理者である“協同組合鳥取総合食品卸売市場”が担っており、市場取引の円滑な運営に取り組んでいます。

光熱水費は横ばいですが、維持管理費は増加傾向にあります。



#### 《指定管理料》

2012年度における指定管理料は、年間 27,866,000 円となっており、管理棟以外の光熱水費は、各卸売業者が負担しています。

#### 《施設概要》

“鳥取市公設地方卸売市場条例”に基づき、生鮮食料品等の取引の適正化及び流通の円滑化を図るために設置しています。

- ・所在地 鳥取市南安長二丁目 697 番地
- ・敷地面積 32,237 m<sup>2</sup>
- ・取扱品目 青果部 野菜、果実及びこれらの加工品  
水産物部 生鮮水産物及びその加工品  
花き部 花き
- ・休場日 日曜日・祝日 12月31日～1月4日、8月15日～16日

## ②青谷町特産品加工販売施設（ようこそ館）

### 【財務面】

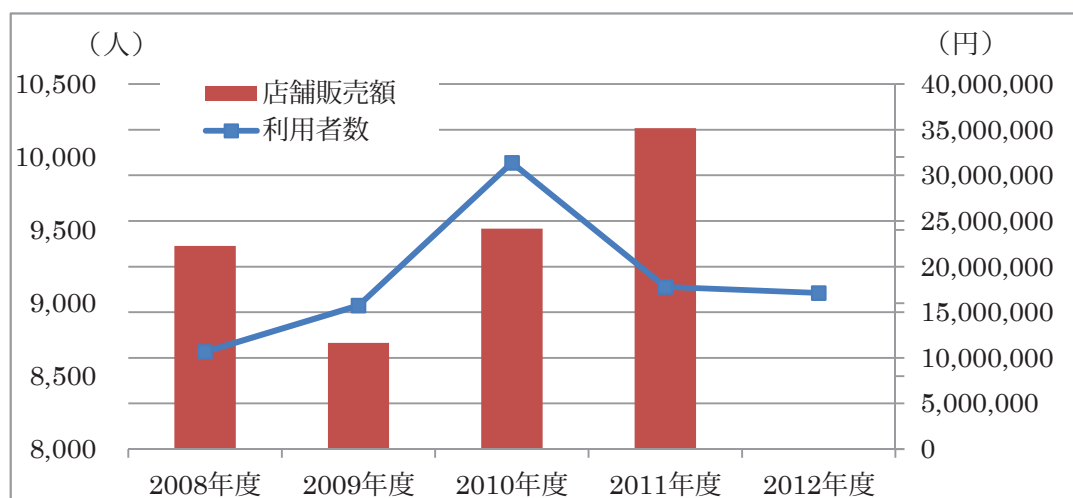
#### 《管理方法並びに公費負担額》

青谷町特産品加工販売施設（ようこそ館）は、特産加工品の研究開発と加工品の製造販売及び地域間の交流により農業・農村の活性化を図るために設置されています。

管理・運営は、指定管理者である“一般財団法人鳥取市農業公社（指定管理料：4,745,000 円）”が担っています。

### 《利用状況等》

青谷町特産品加工販売施設（ようこそ館）の利用者数と店舗販売額は次のとおりです。



### ③観光物産センター

地域の特産品等の紹介を通して観光振興及び地域活性化を図るため、観光物産センターを設置しています。（栄町の鳥取市物産観光センターは民間所有物件のため対象外です。）

管理・運営は、指定管理者である“一般財団法人用瀬町ふるさと振興事業団”が担っています。利用状況等は、「観光施設」を参照してください。

### 《今後 50 年の修繕・更新費用の試算》

今後 50 年間に発生する修繕・更新費用は 45 億 6,400 万円。年平均 9 億 1,000 万円と試算されます。（更新時期のグラフは後述の「駐車場」をご覧ください。）

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	3,277,265
修繕・更新コスト	831,326
維持管理コスト	281,571
解体・除却コスト	173,875
計	4,564,037
単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	65,545
修繕・更新コスト	16,627
維持管理コスト	5,631
解体・除却コスト	3,478
計	91,281

## 2 農業振興施設

本市では、農業従事者への支援や効率的な農作業、各種加工作業、地域住民の連帯感醸成などを目的として、様々な農業振興施設を設置しています。

大規模な施設としては、広域育苗施設（鳥取市本高）や野菜栽培施設（鳥取市馬場）、水耕栽培施設（気高町宝木）などがあり、小規模な農機具保管庫は60施設以上、共同作業場は50施設以上あり、地元や農業従事者が管理しています。

小規模な施設のほとんどは、「鳥取市有施設の民間等への譲渡に関する取扱い方針（2007年9月作成）」に基づき、順次地元譲渡、無償貸付等を進めています。

一方、市条例に基づき、農村部の地域農業の振興と、農産物の加工技術の習得・向上等を目的として設置している農産物加工施設があります。

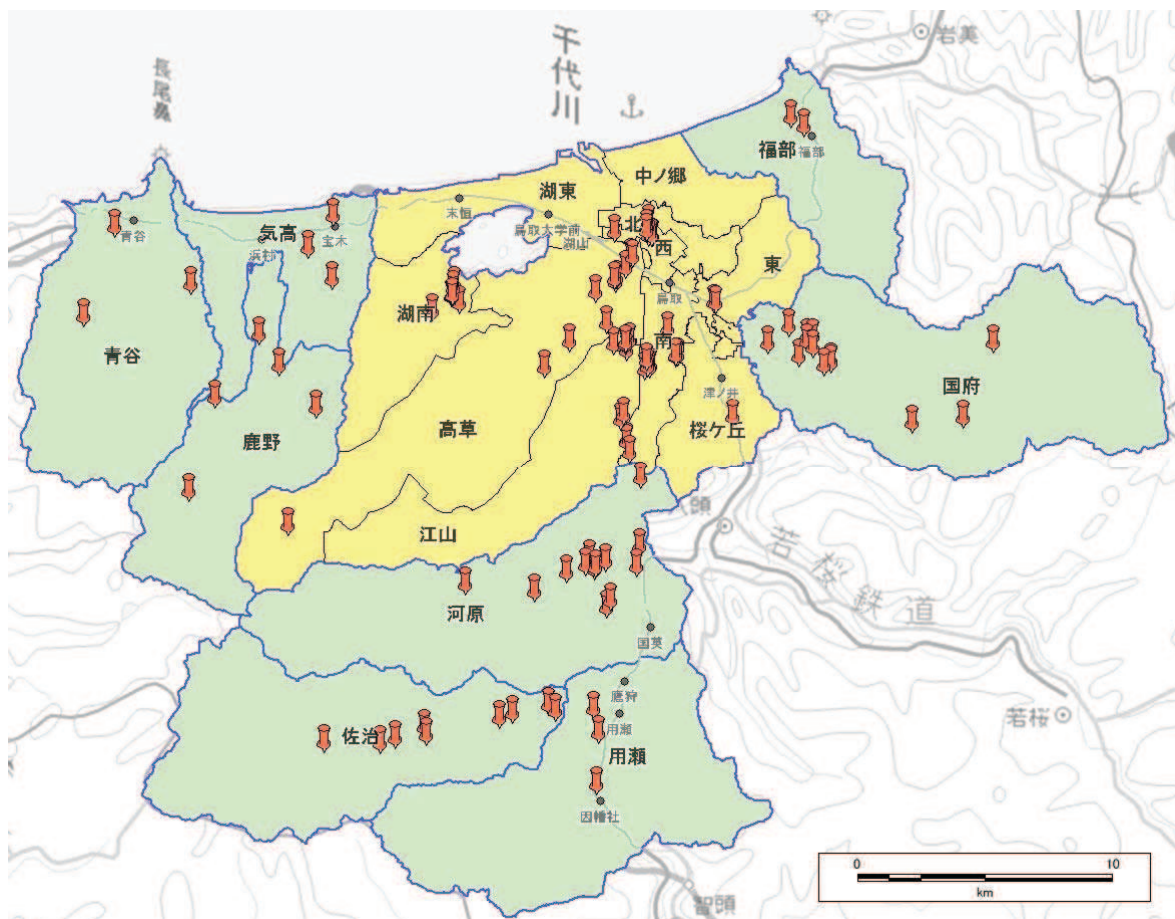
### 【供給面】

施設総数：136 総延床面積：44,462㎡

#### 《施設配置数》

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	10	15	1			8	12	8	4	21	2	21	3	14	7	7	3

#### 《配置図》





《市条例で定められている農業振興施設の種類》

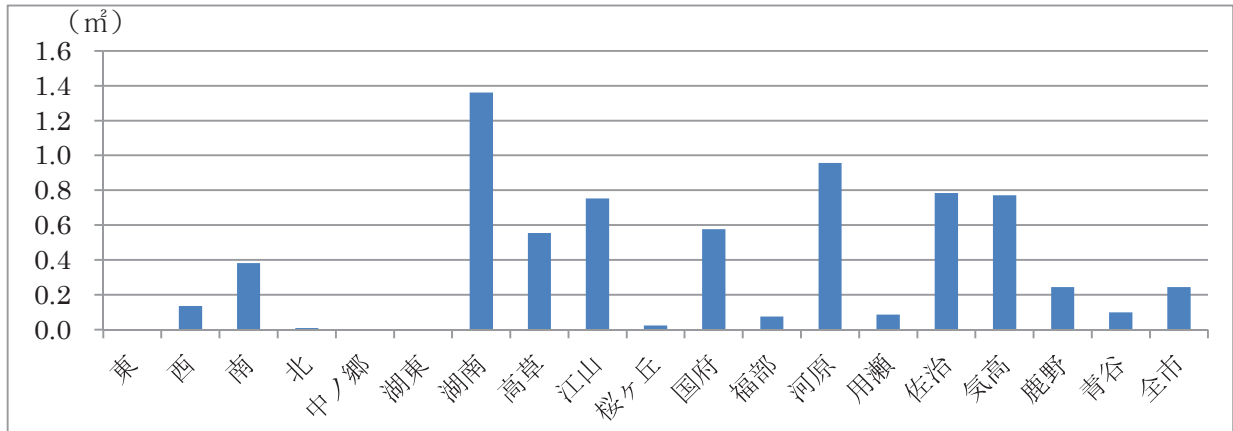
施設名	根拠条例	設置目的
新規就農者技術習得支援施設	鳥取市新規就農者技術習得支援施設の設置及び管理に関する条例	新たに就農しようとする者に対し農業に必要な技術及び知識の付与その他の支援を行うことにより、本市における農業の担い手の育成及び確保を図る。
かちべ伝承館	鳥取市かちべ伝承館の設置及び管理に関する条例	中山間地域の活性化及びうるおいと活力のある地域農業の振興を図る。
農産物加工施設	鳥取市農産物加工等施設の設置及び管理に関する条例	農産物の加工技術の習得・向上による地域農業の振興と共同利用による地域住民の連帯感の醸成を図る。
農業バイオセンター	鳥取市鹿野農業バイオセンターの設置及び管理に関する条例	鳥取市の花き、野菜の生産振興に寄与する。
ふるさと加工所	鳥取市鹿野ふるさと加工所の設置及び管理に関する条例	中山間地域の活性化及び特産品振興に寄与する。
農産物集出荷作業所	鳥取市農産物集出荷作業場の設置及び管理に関する条例	農業の振興を図る。

《建物の状況》

施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
新規就農者技術習得支援施設	国府町麻生	2002	450	鉄骨造 2 階
かちべ伝承館	青谷町鳴瀧	1998	445	木造 1 階
農産物加工施設				
鳥取市農産物加工センター	香取	1991	119	鉄骨造
鳥取市東郷農産物加工施設	西今在家	2007	71	木造
成器地区農産物加工施設	国府町中河原	1994	45	木造
麻生地区農産物加工施設	国府町麻生	1995	29	鉄骨造
大茅地区農産物加工施設	国府町栃本	1999	254	鉄骨造
転作促進集会研修施設七草の家	国府町糸谷	1984	226	鉄骨造
福部町アイデア館	福部町海士	1998	227	鉄骨造
福部町洗濯・乾燥施設	福部町細川	2000	10	鉄骨造
用瀬町社農産物加工施設	用瀬町宮原	1989	106	鉄骨造
佐治町農産物加工センター	佐治町加瀬木	1990	155	木造
気高町農産物加工施設	気高町下坂本	1991	90	木造
農業バイオセンター	鹿野町今市	1991	96	木造
ふるさと加工所	鹿野町河内	1991	335	木造
農産物集出荷作業所				
大工町農産物集出荷場	鹿野町鹿野	1984	92	鉄骨造
山根町農産物集出荷場	鹿野町鹿野	1985	89	鉄骨造
南川農産物集出荷場	鹿野町鹿野	1985	71	鉄骨造
法楽寺農産物集出荷場	鹿野町未用	1981	72	鉄骨造

### 《地域別人口一人当たり床面積》

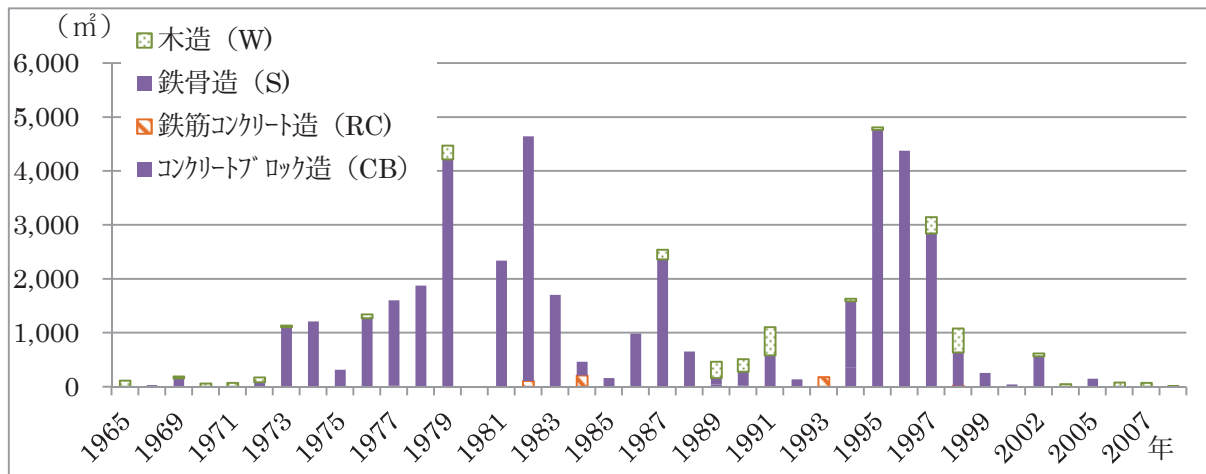
鳥取地域では、湖南、高草、江山の3地区、合併地域では国府、河原、佐治の3地区において、人口1人当たりの床面積が多くなっています。



### 【品質面】

#### 《建築年と構造別延床面積》

90%近くの施設が、鉄骨造となっています。また、1981年以前に建築された旧耐震の建物が36%を占めています。



#### 《地元が管理している主な施設》

成器地区農産物加工施設、麻生地区農産物加工施設、大茅地区農産物加工施設  
 福部町アイデア館、福部町洗濯・乾燥施設、用瀬町社農産物加工施設

以下、主な施設について記載します。

### 【利用状況】

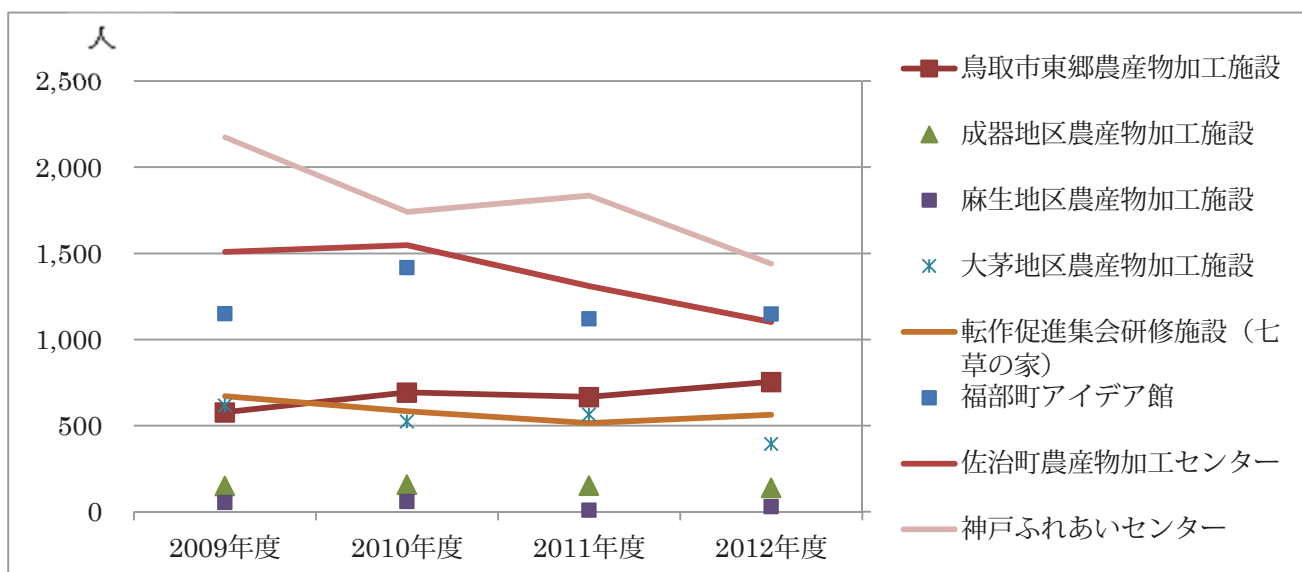
#### ○鳥取市新規就業者技術習得支援施設

長期的に人材育成を行うため、他の施設と比べて利用人数は少なくなっています。

	2010年度	2011年度	2012年度
農業体験者数	33	14	17

## ○その他の施設

利用者数はほぼ横ばいですが、減少幅が大きな施設も見られます。



## 【財務面】

### 《管理状況と指定管理料》

市が光熱水費等を負担し、地元に管理を委託している施設のほかに、指定管理者が管理・運営している施設もあります。

### 《指定管理者の状況》

2012年度において指定管理者制度を導入している施設は次のとおりです。

施設名	指定管理者	指定管理料
鳥取市新規就業者技術習得支援施設	鳥取市ふるさと農業公社	5,342,000
鳥取市かちべ伝承館	特定非営利活動法人 B. F. O. じげ	4,259,000
鳥取市東郷農産物加工施設	JA 鳥取いなば東郷地区女性会	0
転作促進集会研修施設七草の家	鳥取いなば農業協同組合	519,000
佐治町農産物加工センター	佐治町婦人の家運営協議会	917,000
神戸ふれあいセンター	神戸ふれあいセンター運営委員会	587,000

### 《利用者1人あたり公費負担》

#### ○鳥取市かちべ伝承館

利用者は、2011年度の2,217人から2012年度は3,809人と1.7倍になりましたが、利用料収入はほとんど変動がありませんでした。

	利用者数	指定管理料(公費)	利用者1人あたり公費負担	利用料収入	利用者1人あたり利用料
2011年度	2,217	4,259,000	1,921	389,050	175
2012年度	3,809	4,259,000	1,118	399,960	105



## 《施設概要》

### ①鳥取市新規就業者技術習得支援施設

農業の担い手を育成・確保するため、新たに就農しようとする者に対して、農業に必要な技術や知識の付与、各種支援を行う施設です。就農定住促進や農業体験など様々な取り組みを展開しています。建物は旧分庁舎を改修した施設です。

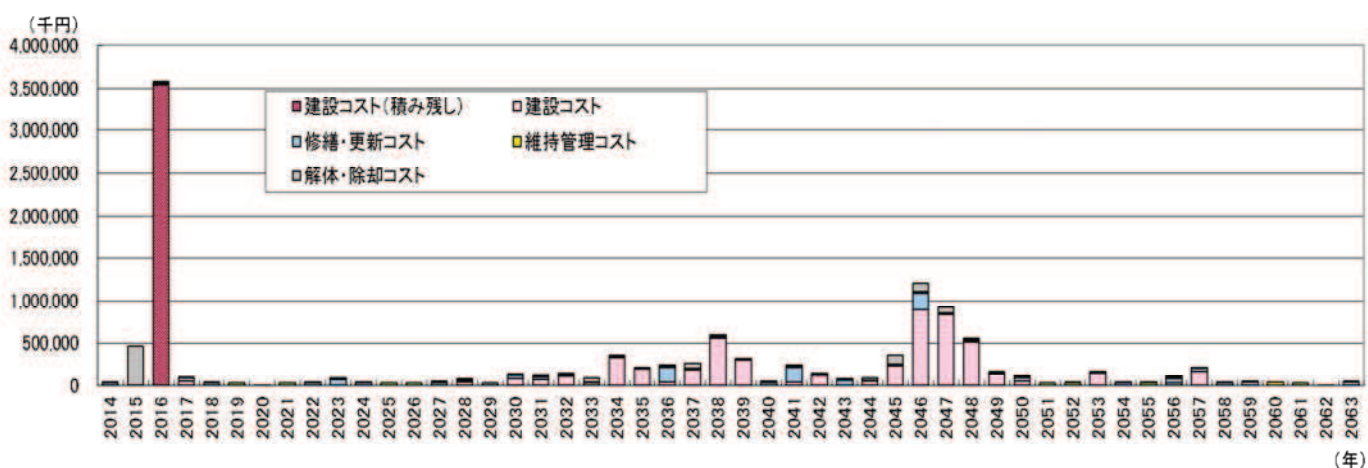
### ②鳥取市かちべ伝承館

地域農業の振興と中山間地域の活性化を目的として設置し、加工設備のほかに研修室や農村文化伝承室があり、いずれも有料で利用できます。

## 《今後50年の修繕・更新費用の試算》

今後50年間に発生する修繕・更新費用は118億4,000万円。年平均2億3,700万円と試算されます。耐用年数を超えている施設が目立ちます。

50年間の総計	単位:千円
建設コスト	8,772,168
修繕・更新コスト	1,421,886
維持管理コスト	594,423
解体・除却コスト	1,052,607
計	11,841,084
単年度平均	単位:千円/年
建設コスト	175,443
修繕・更新コスト	28,438
維持管理コスト	11,888
解体・除却コスト	21,052
計	236,822



### 3 駐車場・駐輪場

本市には、経済活動や住民の移動をサポートするために有料の市営駐車場・駐輪場を設置しています。

#### 【供給面・品質面】

施設総数：鳥取地域4（北中学校区1、西中学校区2、南中学校区1）

総延床面積：6,684㎡

#### 《配置図》

※産業振興施設に掲載

#### 《市条例で定められている施設種類》

施設名	根拠条例	設置目的
片原駐車場	鳥取市営駐車場条例	
駅南駐車場	鳥取市営駐車場条例	
鳥取駅高架下駐輪場	鳥取市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例	自転車及び原動機付自転車を利用する者の利便を図る。

#### 《建物の状況》

施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
片原駐車場	片原	2011	3,871	鉄骨造
駅南駐車場	富安二丁目	1989	27,791	鉄筋コンクリート造
鳥取駅高架下第1自転車駐車場	東品治町	1985	1,704	鉄骨造
鳥取駅高架下第2自転車駐車場	東品治町	1996	1,108	鉄骨造

#### 【利用状況】

##### 《利用台数の推移》

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
片原駐車場	-	-	29,605	35,181
駅南駐車場	477,411	494,167	496,745	499,213
鳥取駅高架下第1・2自転車駐車場	463,436	441,697	410,984	412,970

#### 【財務面】

##### 《施設管理コスト》

施設名	指定管理者	備考
片原駐車場	株式会社大幸電設	利用料金制
鳥取駅高架下第1・2自転車駐車場	鳥取市シルバー人材センター	利用料金制

※利用料金制の指定管理施設であるため、指定管理料は発生していません。

## 【施設概要】

### ①市営片原駐車場

駐車台数 136 台

駐車料金 (24 時間ごとの繰り返しになります。)

駐車時間	料 金
30 分未満	無料
30 分～1 時間 30 分	100 円
1 時間 30 分～2 時間 30 分	200 円
2 時間 30 分～3 時間 30 分	300 円
3 時間 30 分～4 時間 30 分	400 円
4 時間 30 分～24 時間未満	500 円



### ②駅南駐車場

駐車台数 326 台数

駐車料金 8:00～24:00 30 分毎 100 円 (市役所利用者は無料)

24:00～8:00 1 泊 800 円 (この時間帯は出入庫不可)

### ③鳥取駅高架下第 1・2 自転車駐車場

開門時間 午前 6 時 30 分～午後 9 時 (年中無休)

駐輪料金

区分	駐車期間	使用料		
		自転車	原動機付自転車	
普通駐車	1 日 1 回	105 円	158 円	
		※10 円未満は切捨て		
定期駐車	学生等	1 か月	1,050 円	
		3 か月	2,620 円	
	一般	1 か月	1,570 円	
		3 か月	4,200 円	
			1,570 円	2,360 円
			4,200 円	6,300 円



第 1 駐輪場



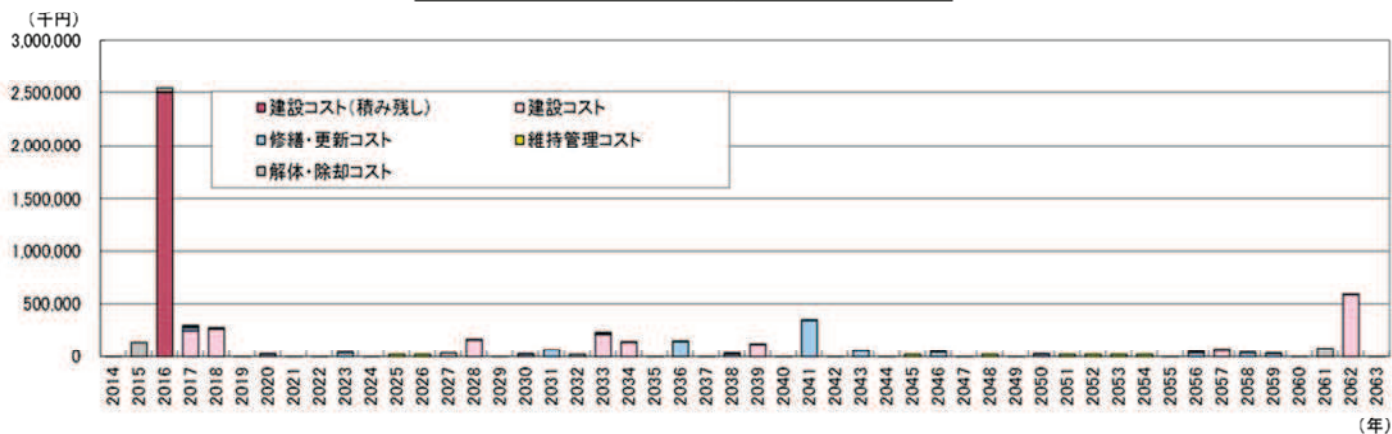
第 2 駐輪場

## 【更新経費（産業振興施設）】

《今後50年の修繕・更新費用の試算》

今後50年間に発生する修繕・更新費用は13億2,000万円。年平均2,600万円と試算されます。

50年間の総計		単位:千円
建設コスト	989,301	
修繕・更新コスト	147,961	
維持管理コスト	57,769	
解体・除却コスト	126,984	
計	1,322,015	
単年度平均		単位:千円/年
建設コスト	19,786	
修繕・更新コスト	2,959	
維持管理コスト	1,155	
解体・除却コスト	2,540	
計	26,440	



※更新時期のグラフは、産業振興施設と駐車場を併せたものとなっています

※駅南駐車場は、市役所駅南庁舎に含まれています。